

科目	機構学 (Mechanism)		
担当教員	黒住 亮太 講師		
対象学年等	機械工学科・3年D組・前期・必修・1単位(学修単位I)		
学習・教育目標	A4-M4(100%)		
授業の概要と方針	機械を設計するにあたり、機械の運動の法則を知ることが大切である。機械を部品の集まりとしてとらえるのではなく、運動の面から考える。前半は総論として機構学の概要を理解し、後半は、主にリンク装置の具体的な運動を理解し、カム装置の導入までを行う。		
	到達目標	達成度	到達目標毎の評価方法と基準
1	【A4-M4】機構学の基礎である用語、連鎖、瞬間中心、機構の速度の求め方などを理解する。		機構学の基礎が理解できているかどうかを中間試験と試験直し、レポート、ノート提出で評価する。
2	【A4-M4】リンク装置の機構の分類と、各機構の運動を理解する。		リンク装置の各機構の分類が理解できているか、またそれらの機構の運動が理解できているかを定期試験とノート提出で評価する。
3	【A4-M4】カム装置の概要を理解する。		カム装置の分類とカムの概要が理解できているかを定期試験で評価する。
4	【A4-M4】機構の変位、速度、加速度を求める式を導出し、それらを求めることができる。		機構の変位、速度、加速度を求める式を導出し、それらの式を使うことができるかをレポート、定期試験で評価する。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験85% レポート5% 試験直し5% ノート提出5% として評価する。100点満点で60点以上を合格とする。		
テキスト	ノート講義 プリント		
参考書	「機構学」：森田均著（実教出版）		
関連科目	数学（三角関数，関数の微分），創造設計製作（機構の組み立てと運動）		
履修上の注意事項	ノート講義のため、復習をすること。プリントは、授業中に配布する。		

